

様式B

令和6年度 幼稚園 ゆめプラン評価公表シート

和歌山市立雑賀崎幼稚園

教育目標

ゆめ	重点目標	具体的取組	取組の状況
夢中になって遊ぶ子供を育てる	身近な人との関わりを通して豊かな学びが生まれる環境をめざして	夢中になって遊べる環境	・子供たちが遊びに夢中になり、その中で考え試し、やり直したり発展させたりできる時間の確保や空間作り、環境の再構成に取り組んできた。感動や発見、驚きなどの感情を自分なりに表現しながら、いきいきと遊ぶ姿が見られている。 ・今年度、保育室を「みんなの部屋」「プレイルーム」「ランチルーム」に割り振り、子供たちの関わりが育まれるように、また活動の幅が広がるように変更した。プレイルームには、様々な素材(画用紙、テープ類、マジック、空き箱、カップなど)を子供の手に取りやすいように配置したり、園内の自然を取り入れたりしながら、子供の思いが満たされる環境構成に取り組んでいる。 ・園庭にはブルーベリーや金柑、プラム、レモン、ミニリンゴといった実のなる木や、四季を感じることができる草花を育てている。四季折々に触れたり、香りを感じたり、食したりすることで豊かな体験に繋がっている。
		身近な人との関わり	・少人数園であることをいかし、互いに刺激し合って遊びを発展させることができるように取り組んでいる。 ・今年度、幼小合同発表会を実施することができた。合同運動会では共に競技に参加したり、昔遊びでは授業で学んだことを教えてもらったり、年間をとおして互いに学び多い交流を積み重ねている。 ・幼小の教師同士が子供の様子や授業時間を共通理解しているので、休憩時間には小学生が園庭に来て自然と関わって遊ぶ姿も見られている。 ・一人一人の子供の遊びの様子や育ちを丁寧に見取り、職員間で共有し子供理解を深めている。個々に応じた援助をすることで、その子供の良さを十分に伸ばすことができるように努めている。 ・子供の主体性を育むために、教師の援助の仕方やタイミングに気を付けながら保育に取り組んでいる。
		地域や保護者との連携	・お茶会や吊るし柿作り、栗拾い消防団見学など地域の方々のご協力をいただきながら取り組むことができた。子供たちが普段から地域の方々とかかわりを意識できるように折に触れて話をしたり、お手紙を描いたりする機会を大切にしている。 ・登降園時に子どもの様子を伝え、子供の成長の過程を共有してきた。必要に応じて専門機関と繋がりが保護者が安心して子育てができるように取り組んでいる。 ・個人懇談では子供の遊びの様子や友達とかかわり、個々の発達段階などについて伝え、保護者が理解しやすいように工夫をしている。

保護者アンケート集計結果の比較から見えてきた成果や課題

- ・職員間で子供の様子を毎日話し合い、援助の仕方や保育について考えてきたことで、子供一人一人を大切にしていることや、保護者に園の様子をわかりやすく伝えていることなど5項目において(とてもそう思う)の評価をさせていただくことができた。
- ・お子さま一人一人の姿を通して園の教育効果の質問の2項目について(あまりそう思わない)の割合があるので、日々の保育を丁寧に取り組んでいくことが課題である。
- ・幼小一貫教育についても保護者にわかりやすく伝えていき、ご理解いただけるようにすることが課題である。

今年度の取組の成果と課題・今後の改善方策

- ・小学校と幼小一貫教育事業を進める中で、互いの保育・授業を参観し協議会を行い、それぞれの視点から意見を出し合い学びを深めたり、合同の行事を増やし交流をさらに密にしたりすることができた。
- ・今年度、幼小合同発表会を実施し、保護者以外の方々にも子供たちの成長を知っていただいたり、地域の方々に幼稚園を知っていただくきっかけになったりすることができた。また園児が小学生の発表を見ることができたことは、子供たちにとっていい刺激となった。子供たちは様々な経験を積み重ね、心身の豊かな成長に繋がった。
- ・園児数を増加させることが大きな課題である。幼小一貫教育事業について作成したパンフレットを様々な場所に配置したり、本園の場所や取り組みをもっと知ってもらうために、ホームページの活用その他にどのように広報していくかを検討することが課題である。

学校関係者評価委員による自己評価の検証

- ・クラス関係なくみんなで遊び、その中で友達を考えや気持ちを考えながら一緒に遊べる工夫をしているなと思いました。
- ・先生が話したことをするのではなく、自分たちでやりたいことにどんどん挑戦している姿が見られ、それに対する環境を十分に整えてくれていると思います。
- ・幼小がそれぞれの園庭や運動場を行き来できる環境、そして畑で育てた野菜を使って小学生と交流できる環境がしっかり整っていると思いました。
- ・幼小一貫教育の成功に向けて、地域も努力していきたいと思っています。